

令和6年度 学習のねらい

教科	指導の重点
国語	音声言語や作文指導を通して、表現活動の充実を図り、「読む・書く・話す・聞く」力を高める。
社会	・基礎的・基本的な知識の習得を目指す。 ・社会的な事象に対する興味・関心が持てるように工夫する。 ・資料を活用し、読み取った事柄を表現する能力を養う。 ・問題解決的な学習をととして、生徒らが自らの手で課題に対する考えを深める学習を充実させる。
数学	基礎・基本を大切にし、自ら考える力を育成するとともに、数学的活動の楽しさや意義を充実させる。また、それらを活用して考えたり、判断したりしようとする態度を育てる。
理科	・ICT 機器を導入し、自然の事物・現象についての基礎的・基本的な知識の理解を深めさせる。 ・実験・観察によって探究能力を養い、技能と表現する力を身につけさせる。
音楽	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽・音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
美術	美術分野における幅広い活動を通して、基礎的な技能習得やそれを用いた表現及び鑑賞の能力の育成を目指す。また、楽しく美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。ICT 機器などを用い、美術を通して自己と世界や社会との関わりについて考える態度を育てる。
保健体育	・生涯にわたって運動に親しむとともに、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。 ・個人生活における健康・安全について理解する。
技術・家庭	技術分野では、技術についての基本的な知識及び技能、生活や社会の中から問題を見いだして課題を解決する力を育成する。また、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 家庭科分野では衣食住に関する基礎的な知識と技能を習得するとともに、生活の自立に必要な家庭の機能、環境などについての理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。
外国語(英語)	・基礎学力の定着 ・生徒のより積極的な発声、発語活動に取り組み、speaking, listening, reading, writing の4技能の総合的な育成を目指す。
特別の教科 道徳	自己を確立し、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
総合的な学習の時間	キャリア教育を中心に据え、3年間を通して各教科との関連を図りながら、問題解決や探究活動、他者との関わりに、主体的・創造的・協同的に取り組む態度や自己の生き方を考える態度を養う。
特別活動	各学年の実践の情報共有と取り組みの報告を行い、集団の中での学校生活において、自主的・実践的に取り組む態度を育てる。